

事業番号 6

事業名 戦略的実務者(STEP)招へい

評価者コメント

- 見直しを進めていること、事業の成果を見る上ではフォローアップが重要かと思いますが、現状では適切に行われていると思われること、以上より現状通りと判断しました。
- 中長期的観点から多様な人物(政府セクターに限らず、経済界、NGO等)を招へいすべき。
- 「日本外交への協力」という近視眼的な視点では、「戦略的」とは言えない。
- 随意契約部分は、極力、競争的にすべき。
- 今の方針を維持しながら、コスト削減に努めていただきたい。
- 予算の制約がある以上、人数・日数の削減、地方視察のカット等はやむを得ない。
- 平成22年度以降 PDCA サイクルが導入され、ガバナンスの仕組みが整備されたことは価値がある。スピードを緩めずにより説明力のある仕組み作りが必要。
- 現在はフォローアップが内部で行われており、外部の目を入れて、フォローアップが効果的に示されていることを対外的に示すことが重要。招待者選定時にも外部の目があった方がいいかもしれない。
- 効果の検証は可能な範囲で公開すると同時に第三者チェックを入れるべき。
- 調達の競争性を確保するためにももう少し工夫を(国際交流サービス協会に外務省OB)
- 予算を現実的なものに。

集計結果

・ 現状通り	1	名
・ 一部改善	3	名
・ 抜本的改善	2	名
・ 廃止	0	名

取りまとめ結果及びコメント

- 現状維持 ☒ 一部改善 ● 抜本的改善 ● 廃止

- これまでの見直しについては評価。ただし、招へいのフォローアップに関しては、効果の検証や招へい者選定等に可能な限り外部性を導入するなど、更なる改善を図る。